

開 会

○安部 隆委員長 これから予算特別委員会を開会いたします。

本日の会議に欠席の通告委員はございません。よって、ただいまの出席委員は定足数に達しております。

3月市議会定例会における補正予算案審査は、事務事業の執行期限が迫っていることから、会期の早期に審査することになっております。よって、平成24年度各会計補正予算案の審査は本日となっております。

それでは、先ほどの本会議において予算特別委員会に付託になりました各会計予算案のうち、議案第34号 平成24年度長井市一般会計補正予算第6号から、議案第42号 平成24年度長井市一般会計補正予算第7号までの補正予算案9件について審査を行います。

なお、審査日程につきましては、本日1日となっておりますので、ご協力お願いいたします。

それでは、これから各会計補正予算案の概要について説明を求めます。

議案第34号 平成24年度長井市 一般会計補正予算第6号 議案第42号 平成24年度長井市 一般会計補正予算第7号

○安部 隆委員長 まず、議案第34号 平成24年度長井市一般会計補正予算第6号及び議案第42号 平成24年度長井市一般会計補正予算第7号の2件について。

平 英一財政課長。

○平 英一財政課長 議案第34号 平成24年度長井市一般会計補正予算第6号の概要についてご説明いたします。

第1条の歳入歳出予算の補正につきましては、予算の総額に歳入歳出それぞれ9億350万3,000円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ132億1,549万4,000円といたすものでございます。

第2条の繰越明許費につきましては、5ページから7ページ中ほどまでの第2表、繰越明許費のとおり定め、第3条の地方債の補正につきましては、同じく7ページから8ページの第3表、地方債補正のとおり変更いたすものでございます。

以下、事項別明細書によりご説明いたしますので、11ページをお開き願います。

まず、歳入。1款1項市民税は、1目個人分で2,800万円を減額、2目法人分で8,600万円を増額し、合計で5,800万円を増額いたしました。

9款1項地方交付税につきましては、今年度の普通交付税確定額全額を計上するため、未計上であった分の1億3,595万4,000円を計上いたしております。

13款1項国庫負担金は、1目民生費国庫負担金で自立支援給付費負担金690万円の増額や、3目災害復旧費国庫負担金で公共土木施設災害復旧事業費負担金560万3,000円の減額などで合計92万6,000円を増額し、2項国庫補助金では1目総務費国庫補助金で新たに地域の元気臨時交付金1,550万円を計上し、12ページになります、12ページをお開き願います。2目民生費国庫補助金で地域介護福祉空間整備事業等整備交付金1,500万円を減額、4目土木費国庫補助金では社会資本整備総合交付金、都市再生整備や都市公園等で2億844万5,000円を増額し、6目消防費国庫補助金で消防防災施設整備費補助金1,570万8,000円を計上するなど、2項国庫補助金合計で2億2,539万3,000円を増額いたしま

した。

14款1項県補助金は、1目民生費県負担金で自立支援給付費負担金345万円の増額や、後期高齢者医療保険基盤安定負担金499万1,000円の減額などで合計330万4,000円を減額し、13ページになりますが、2項県補助金では、2目民生費県補助金で山形県社会福祉施設開設準備交付金1,740万円や、認可外保育施設受け入れ支援事業費補助金209万9,000円を計上、3目衛生費県補助金では、子宮頸がん等ワクチン接種促進事業費補助金624万円を減額し、4目農林水産業費県補助金で青年就農給付事業費補助金1,950万円の減額や、農村地域防災減災事業補助金360万円の計上などで、2項合計793万3,000円を減額いたしております。

16款1項寄附金は、心のまちづくり基金寄附金や地域福祉基金寄附金などで合計28万円を計上いたしております。

14ページをお開き願います。17款1項特別会計繰入金では、1目国民健康保険特別会計繰入金25万円を増額いたしております。

18款1項繰越金では、1目繰越金で前年度繰越金2,328万6,000円を計上し、19款4項雑入では、平成23年度置賜広域病院組合負担金精算金の計上などで4項合計で2億2,065万1,000円を増額いたしました。

20款1項市債につきましても、15ページになりますが、4目土木債と5目消防債でこのたびの国の経済対策に係る前倒しされた建設事業の市債を増額し、その他につきましても、それぞれの充当事業費の精算などにより起債所要額を減額するなど、合計で2億5,000万円の増額計上となりました。

次に、歳出についてご説明いたします。

16ページをお開き願います。まず、2款1項総務管理費では、3目財政管理費で財政調整基金積立金3億円と減債基金積立金1,043万3,000円の計上や、6目企画費で山形鉄道運営助成事

業特別会計繰出金480万円の計上などで、1項合計で3億1,332万4,000円を増額し、2項徴税費では、1目税務総務費で市税等還付金50万円を計上いたしております。

17ページになりますが、3款1項社会福祉費では、1目社会福祉総務費で地域福祉基金積立金311万5,000円や、国民健康保険特別会計繰出金694万3,000円の計上、2目障がい者福祉費では自立支援給付事業2,089万6,000円を増額し、3目老人福祉費で後期高齢者医療広域連合療養給付費負担金377万6,000円の増額や、後期高齢者医療特別会計繰出金665万4,000円の減額、地域密着型サービス拠点等施設整備事業費補助金1,500万円の減額、山形県社会福祉施設開設準備補助金1,740万円の計上などで、18ページをお開きください、1項合計3,283万3,000円を増額し、2項児童福祉費では、1目児童福祉総務費で認可外保育施設乳児受け入れ支援事業補助金279万9,000円の増額などで合計341万4,000円を増額、3項生活保護費では、扶助費の補正などで520万1,000円を増額いたしております。

19ページ、4款1項保健衛生費では、2目予防費で予防接種事業825万3,000円の減額、3目環境衛生費で環境衛生事業191万5,000円の減額、5目保健事業費で健康増進事業254万円を減額するなど、1項合計1,293万8,000円を減額し、2項清掃費では、1目清掃総務費で浄化槽事業特別会計繰出金466万5,000円の増額や、2目衛生処理費で、20ページをお開き願います、置賜広域行政事務組合分担金3,027万5,000円を減額するなど2項合計2,729万円を減額し、3項病院費では、置賜広域病院組合負担金271万1,000円を減額いたしました。

次に、6款1項農業費では、3目農業振興費及び5目畜産業費において決算見込み額に基づき所要額を増額または減額し、21ページになりますが、6目農地費で県営事業負担金483万2,000円や、農村地域防災減災事業367万5,000

円を計上するなど1項合計1,515万2,000円を減額し、2項林業費では、2目林業振興費で森林資源循環利用促進事業155万円を減額いたしております。

7款1項商工費では、3目観光費で観光振興事業120万2,000円の減額、4目企業振興費の企業振興事業で、22ページをお開き願います、企業立地基金積立金3,789万1,000円を計上いたしまして、1項合計3,561万7,000円の増額となりました。

8款2項道路橋りょう費は、2目道路橋りょう維持費で道路除雪事業5,327万1,000円の増額や、3目道路新設改良費で社会資本整備総合交付金事業の活力創造基盤整備や、23ページの都市再生整備、関連社会資本整備の増額などで2項合計で1億6,122万9,000円を増額し、3項河川費でも2目水のまちづくり推進事業費で社会資本整備総合交付金事業、都市再生整備4,048万3,000円を増額いたしております。

24ページをお開き願います。8款4項都市計画費では、3目公園費で生涯学習プラザ運動公園整備事業3億5,570万円を計上、4目街路事業費で県営事業負担金200万円を減額、5目都市再生整備費で職員人件費を減額するなど、4項合計3億4,818万円の増額となりました。

次に、9款1項消防費では、1目常備消防費、2目非常備消防費で決算見込み額に基づき所要額を減額し、3目消防施設費では、消防施設整備事業費4,421万1,000円を計上するなど、1項消防費合計で3,946万6,000円を計上いたしております。

10款1項教育総務費は、2目事務局費で燃料費4万6,000円を追加計上し、2項小学校費は、1目学校管理費で決算見込み額に基づき所要額を増額または減額し、26ページをお開きください、2目教育振興費で教育振興事業342万円を増額し、2項合計で106万4,000円の増額となりました。

10款3項中学校費でも、1目学校管理費で決算見込みにより所要額を増額または減額し、2目教育振興費で教育振興事業110万円を増額し、3項合計で86万2,000円の増額となりました。

11款2項公共土木施設災害復旧費は、1目一般公共土木施設災害復旧費で事業費確定により864万2,000円を減額し、12款1項公債費では、1目元金、2目利子ともに不用額を減額し1,043万3,000円の減額となりました。

以上が平成24年度一般会計補正予算第6号の概要でございます。

次に、議案第42号 平成24年度長井市一般会計補正予算第7号の概要についてご説明いたします。よろしいでしょうか。

まず、第1条の歳入歳出予算の補正につきましては、予算の総額に歳入歳出それぞれ7,240万1,000円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ132億8,789万5,000円といたすものでございます。このたびの補正は、2月20日から続きました大雪によりまして、6号補正で計上いたしました除雪経費では年度末まで対応し切れなくなる見込みということでございまして、追加提案させていただくものでございます。

以下、事項別明細書によりご説明いたしますので、4ページをお開きください。

歳入でございますが、18款1項繰越金、1目繰越金で前年度繰越金7,240万1,000円を計上いたしております。

次に、5ページ、歳出についてご説明いたします。

8款2項道路橋りょう費、2目道路橋りょう維持費で道路除雪作業業務委託料488万4,000円、除雪機械借上料6,751万7,000円の合計で7,240万1,000円を追加計上いたしております。

以上が平成24年度一般会計補正予算第7号の概要でございます。よろしくご審査賜りますようお願い申し上げます。

**議案第35号 平成24年度長井市
国民健康保険特別会計補正予算第2号**

**議案第40号 平成24年度長井市
後期高齢者医療特別会計補正予算第2号**

○安部 隆委員長 次に、議案第35号 平成24年度長井市国民健康保険特別会計補正予算第2号及び議案第40号 平成24年度長井市後期高齢者医療特別会計補正予算第2号の2件について。

宇津木正紀市民課長。

○宇津木正紀市民課長 議案第35号 平成24年度長井市国民健康保険特別会計補正予算第2号についてご説明申し上げます。

歳入歳出の総額に7,207万5,000円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ28億9,398万8,000円といたすものでございます。

それでは、事項別明細書によりまして説明いたしますので、国保4をお開きください。

歳入であります、4款1項国庫負担金93万9,000円を減額補正するものでございますが、主なものは、1目療養給付費等負担金56万8,000円の減額で、所要額の確定と決算見込みによるものであります。同じく4款2項国庫補助金44万6,000円は、70歳から74歳までの被保険者の1割自己負担分の延長に伴う高齢受給者証再交付業務に係る円滑運営事業補助金と東日本大震災に係る災害臨時特例補助金であります。

6款1項前期高齢者交付金315万2,000円は、額の確定によるものであります。

7款1項県負担金37万1,000円は、歳出の減に伴うもので、4款1項国庫負担金、2目高額医療費共同事業負担金と同額であります。

次のページ、国保5でございますが、8款1項共同事業交付金111万3,000円は、額の確定に

よるものです。

10款1項一般会計繰入金675万5,000円の主なものは、一般会計繰入金で財政安定化支援事業繰り入れの額の確定に伴うものであります。同じく10款2項基金繰入金1,608万3,000円の減額は、当初見込みより繰越金が多い見込みであるために、給付基金繰入金を減額するものです。

次の国保6をお開き願います。11款1項繰越金7,800万2,000円は、23年度の決算に伴い額が確定したことによるものであります。

次のページ、国保7であります、歳出になります。1款1項総務管理費15万4,000円は、円滑運営事業の印刷製本費と郵便料です。

2款1項療養諸費及び2項高額療養費については、財源内訳の組み替えであります。

次の国保8になりますが、4款1項前期高齢者支援金4万5,000円は、額の確定によるものです。

7款1項共同事業拠出金171万7,000円につきましても、額の確定に伴うものであります。

9款1項基金積立金6,999万9,000円は、基金積立金が条例で定める額に達していないため、繰越金の見込みを必要最小限度にとどめ積み立てることと、調整交付金に係る評価点を高めるためのものであります。

10款1項償還金及び還付加算金25万円は、過年度の精算金に係る一般会計繰出金であります。

次に、長井市後期高齢者医療特別会計についてご説明いたしますので、ずっと飛びますが、後期の1をお開き願います。

議案第40号になります。議案第40号 平成24年度長井市後期高齢者医療特別会計補正予算第2号についてご説明申し上げます。

歳入歳出の総額から665万4,000円を減額し、歳入歳出の総額を2億9,927万2,000円といたすものでございます。

それでは、事項別明細書によりまして説明いたしますので、後期の4をお開き願います。ま

ず歳入であります。3款1項一般会計繰入金665万4,000円の減額は、2目一般会計繰入金において保険料軽減相当分の額の確定による補正であります。

歳出であります。2款1項後期高齢者医療広域連合納付金665万4,000円の減額は、保険基盤安定制度分でございます。

以上、よろしく審査賜りますようお願い申し上げます。

議案第36号 平成24年度長井市 公共下水道事業特別会計補正予算第 2号

議案第39号 平成24年度長井市 浄化槽事業特別会計補正予算第2号

○安部 隆委員長 次に、議案第36号 平成24年度長井市公共下水道事業特別会計補正予算第2号及び議案第39号 平成24年度長井市浄化槽事業特別会計補正予算第2号の2件について。

鈴木要一郎上下水道課長。

○鈴木要一郎上下水道課長 先に議案第36号 平成24年度長井市公共下水道事業特別会計補正予算第2号の概要についてご説明申し上げます。

下水1ページをお開き願います。第1条の歳入歳出予算の補正につきましては、予算の総額に歳入歳出それぞれ991万2,000円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ15億7,287万5,000円といたすものでございます。

補正の内容でございますが、平成24年度の国の補正予算に対応し、公共下水道事業の追加をいたすとともに、年度末における精算見込み額の補正をいたすものでございます。

第2条の繰越明許費につきましては、下水2ページ、第2表、繰越明許費のとおり、公共下水道事業費6,520万円を翌年度へ繰り越しをい

たすものでございます。これは国の補正予算の対応分でございます。

第3条の地方債の補正につきましては、下水2ページ、第3表、地方債補正のとおり、起債限度額を変更いたすものでございます。

以下、事項別明細書によりご説明申し上げますので、下水4ページをお開き願います。

歳入でございますが、1款1項1目公共下水道事業費国庫補助金は、社会資本整備総合交付金の減、汚水処理施設整備交付金の増により1,041万3,000円を追加し、4款1項1目一般会計繰入金は20万1,000円の減額で、7款1項1目下水道事業債は30万円を減額いたすものでございます。

下水5ページをごらんください。歳出でございますが、1款1項2目公共下水道費につきましては、1,299万5,000円を追加計上いたすものでございます。主なもので、13節委託料は、公共下水道管理センター改築更新工事委託料及び実施設計業務委託料など2,856万円の減額で、15節工事請負費は国の補正予算対応分として6,300万円を計上し、既決予算の不用見込額を差し引き4,949万5,000円の増額となっております。なお、国の補正予算未対応分は、西根の仁府地区の汚水管路布設工事を予定しております。22節補償補填及び賠償金は、不用見込み額814万円を減額いたすものでございます。

2款1項公債費、2目利子につきましては、支払い額の確定によりまして308万3,000円を減額いたすものでございます。

次に、浄化槽1ページをお開き願います。議案第39号 平成24年度長井市浄化槽事業特別会計補正予算第2号の概要についてご説明申し上げます。

第1条の歳入歳出予算の補正につきましては、予算の総額から歳入歳出それぞれ3,643万3,000円を減額し、予算の総額を歳入歳出それぞれ8,478万3,000円といたすものでございます。

補正の内容につきましては、地域生活排水処理事業による浄化槽設置基数が、当初計画予定数70基に対し実設置数40基と確定したこと及び精算見込みに伴う歳入歳出予算の補正をいたすものでございます。

第2条の地方債の補正につきましては、浄化槽3ページ、第2表、地方債補正のとおり、起債限度額を変更いたすものでございます。

それでは、事項別明細書によりご説明申し上げますので、浄化槽5ページをお開き願います。

歳入につきましては、1款1項1目浄化槽事業分担金から517万5,000円、2款1項1目浄化槽使用料から136万1,000円、3款1項1目特定地域生活排水処理事業国庫補助金から394万1,000円をそれぞれ減額いたしまして、4款1項一般会計繰入金は収入不足分466万5,000円を増額し、5款1項1目繰越金は前年度繰越金19万8,000円を減額いたすものでございます。

次に、6ページになりますが、6款3項1目雑入は27万7,000円の増額で、7款1項1目下水道事業債につきましては、浄化槽設置基数の減数により3,070万円を減額いたすものでございます。

7ページをごらんください。歳出につきましては、1款1項1目浄化槽総務費は11万2,000円の増額で、薬剤費、修繕料を増額し、設置基数の減により法定検査手数料、浄化槽保守点検清掃委託料などを減額いたすものでございます。2目浄化槽事業につきましては、3,654万5,000円の減額で、主に15節工事請負費を設置基数の減数に伴い3,601万4,000円を減額し、その他不用見込額を減額いたすものでございます。

以上、よろしくご審査賜りますようお願い申し上げます。

議案第37号 平成24年度長井市 山形鉄道運営助成事業特別会計補正

予算第2号

○安部 隆委員長 次に、議案第37号 平成24年度長井市山形鉄道運営助成事業特別会計補正予算第2号の1件について。

遠藤健司企画調整課長。

○遠藤健司企画調整課長 議案第37号 平成24年度長井市山形鉄道運営助成事業特別会計補正予算第2号の概要についてご説明申し上げます。

鉄道の1ページをごらんください。初めに、第1条、歳入歳出予算の補正についてご説明申し上げます。

山形鉄道株式会社は、国の平成24年度補正予算第1号緊急経済対策に計上された公共事業が従前の制度よりも優位であるということから、これを積極的に利用して平成26年度以降に計画している施設老朽化対策を一部前倒しして実施することを予定しております。このたびの予算の補正は、この施設老朽化事業への支援を今特別会計から行うため、歳入歳出それぞれ900万円を増額し、予算の総額をそれぞれ1億3,774万9,000円とするものでございます。

次に、事項別明細書によりましてご説明申し上げます。

鉄道の4ページをお開きください。施設老朽化対策事業への支援の財源として、3款繰入金、1項一般会計繰入金480万円、同じく3款2項基金繰入金420万円を増額するものでございます。一般会計繰入金につきましては、国の経済対策で追加される公共投資により地方負担が大規模となるため、これを軽減するために創設されました地域の元気臨時交付金の交付額相当を一般会計より繰り入れるものでございます。基金繰入金については、ただいまご説明申し上げた交付金相当額で不足する財源について、山形鉄道運営助成基金特別会計より繰り入れるものでございます。

鉄道、5ページをごらんください。歳出でございますが、山形鉄道の施設老朽化対策事業の総事業費は、踏切施設、保安施設等の更新等に1,500万円となります。このうちの5分の2の600万円が国からの補助金で支援されます。残額の900万円について本特別会計より支援を行うものです。1款山形鉄道助成費、1項山形鉄道助成費、1目運営助成費900万円を増額するものでございます。

なお、鉄道の1ページにお戻りいただきまして、第2条の繰越明許費についてでございますが、ただいま申し上げた施設老朽化対策事業は、翌年度完了するということになるというふうに見込まれております。よりまして、1款1項山形鉄道助成費900万円を翌年度に繰り越しするものでございます。

なお、この補正予算案につきましては、過日、基金運用管理委員会のご承認をいただいて提出させていただくものでございます。よろしくご審査賜りますようお願い申し上げます。

議案第38号 平成24年度長井市 介護保険特別会計補正予算第3号

○安部 隆委員長 次に、議案第38号 平成24年度長井市介護保険特別会計補正予算第3号の1件について。

小泉良一福祉生活あんしん課長。

○小泉良一福祉生活あんしん課長 議案第38号 平成24年度長井市介護保険特別会計補正予算第3号について、ご説明を申し上げます。

第1条の歳入歳出予算の補正につきましては、予算の総額にそれぞれ115万6,000円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ27億218万3,000円といたすものでございます。

それでは、事項別明細書によりご説明申し上げ

げます。

介護の5ページをお願いをしたいと思います。歳入でございます。3款2項3目介護保険事業費補助金では、55万4,000円を追加するもので、介護報酬改定に伴うシステム改修事業費補助金でございます。4目介護保険災害臨時特例補助金では、7万7,000円を追加するもので、東日本大震災の計画的避難区域から長井市に転入した方の減免した第1号保険料に対する補助金でございます。合計で63万1,000円を計上いたしました。

7款1項3目その他一般会計繰入金では、55万5,000円を追加するもので、総務管理費に係る介護報酬システム改修費のうち国庫補助分を除いた事務費の繰入金でございます。2項1目介護給付費準備基金繰入金では、1,484万6,000円を減額するもので、前年度繰越金増額補正等を減額するものでございます。

8款1項1目繰越金では、前年度繰越金として1,481万6,000円を追加するものでございます。

次に、歳出でございますが、1款1項1目一般管理費では、110万9,000円を追加するものでございまして、介護保険関係電算処理委託料でございます。

2款保険給付費では、今後の給付見込み額を勘案し、1項介護サービス等諸費では、居宅介護サービス給付費402万円を減額し、2項介護予防サービス等諸費では、介護予防住宅改修費の増額が見込まれることから100万円を追加し、3項その他諸費では、審査支払手数料につきまして財源の更正でございます。4項高額介護サービス等費では211万1,000円を追加し、5項高額医療合算介護サービス等費につきましては財源の更正でございます。7項特定入所者介護サービス等費では90万9,000円を増額するなどし、2款保険給付費について、介護サービス間で組み替えをいたすものでございます。

5款1項2目償還金では、4万7,000円を追

加するものでございまして、地域支援事業過年度分償還金でございます。

以上でございます。よろしくご審査賜りますようお願いを申し上げます。

議案第41号 平成24年度長井市 水道事業会計補正予算第3号

○安部 隆委員長 次に、議案第41号 平成24年度長井市水道事業会計補正予算第3号の1件について。

鈴木要一郎上下水道課長。

○鈴木要一郎上下水道課長 議案第41号 平成24年度長井市水道事業会計補正予算第3号の概要についてご説明申し上げます。

水道1をお開き願います。このたびの補正は、平成24年度の国の補正予算に対応し、老朽管更新事業の追加補正を行うとともに、年度末における精算見込み額の補正を行うものでございます。

第2条の業務の予定量につきましては、建設改良費の精査に伴い、配水施設整備費を5,020万円とし、新たに老朽管更新事業費で6,300万円を予定いたすものでございます。

第3条収益的収入及び支出につきましては、収入では、第1款水道事業収益に258万6,000円を増額し、総額を6億5,526万8,000円とし、支出では、第1款水道事業費用に8万4,000円を増額し、総額を6億2,811万6,000円といたすものでございます。

水道2ページをごらんください。第4条、資本的収入及び支出につきましては、収入では、第1款資本的収入に4,670万円を増額し、総額を6,830万円とし、支出では、第1款資本的支出に3,110万円を増額し、総額を3億6,736万円といたしまして、差し引き不足する財源2億

9,906万円につきましては、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額359万円及び過年度分損益勘定留保資金2億9,547万円をもって補填いたすものでございます。

第5条、企業債につきましては、起債の目的、限度額などを表のとおり定めるものでございます。

次に、水道3ページから実施計画により詳細についてご説明申し上げます。

初めに、収益的収入及び支出について、収入の1款1項営業収益は、246万8,000円の増額補正で、内訳としまして、1目給水収益は実績の推計から256万5,000円を増額し、2目加入金は実績分194万3,000円を増額し、5目他会計繰入金は下水道事業及びその他事業に伴う給水管布設替補償費204万円を減額いたすものでございます。2項営業外収益は、2目雑収益で11万8,000円を増額いたすものでございます。

次に、4ページ、支出でございますが、1款1項営業費用につきましては、1目浄水及び給配水費で、給水管布設替工事費不用額の204万円、動力費の不足見込み額120万円などにより75万6,000円を増額しております。2項営業外費用につきましては、14万円の増額で、消費税納税額の補正でございます。3項特別損失は、過年度損益修正損70万円の増額で、水道料金等の精算還付金の見込み額であります。

続いて、資本的収入及び支出についてご説明申し上げます。

水道5ページをごらん願います。収入の1款資本的収入、1項その他の補償金につきましては、配水管布設替補償費の精算により1,330万円の減額で、3項企業債及び4項国庫補助金は、老朽管更新事業の財源としてそれぞれ3,000万円を追加いたすものでございます。

次に、支出について、水道6ページをお開き願います。支出の1款資本的支出、1項建設改良費につきましては、2目配水施設整備費は、

配水管布設替工事費の精算により不用額3,190万円を減額し、4目老朽管更新事業費は、工事請負費設計委託料など6,300万円を追加計上いたすものでございます。

なお、工事箇所につきましては、市道平山境町線で、清水町浄配水場から東に350メートルの配水管の布設替工事を予定しております。

以上でございます。よろしくご審査賜りますようお願い申し上げます。

平成24年度長井市各会計補正予算 に関する総括質疑

○安部 隆委員長 概要の説明が終わりました。

これから質疑を行います。

ここで、総括質疑の発言通告がありますので、ご指名いたします。

高橋孝夫委員の総括質疑

○安部 隆委員長 議席番号13番、高橋孝夫委員。

○13番 高橋孝夫委員 私は、市民生活の向上を願いながら総括質疑を行います。通告しております2点について質問申し上げますので、明確な答弁をいただきますようお願いをしておきたいと思っております。

一般会計補正予算第6号は、補正総額9億350万3,000円でありまして、本日新たに提案されました補正予算第7号は約7,200万円というものでございまして、合計は9億7,500万円強という額になるようです。先日、財政課からいただきました資料によりますと、平成19年度以降の3月補正の額は、平成19年度は6,345万6,000円、平成20年度は3億9,427万円、平成21

年度は6億5,749万1,000円、そして平成22年度は10億4,604万4,000円、そして昨年度23年度は9億1,838万1,000円というふうになっておりまして、平成21年度以降急激に3月補正額が伸びてきています。今回は総額で130億円を超える一般会計の規模にもなってるわけですが、このことにもあらわれていると思っています。

とりわけリーマンショック以降の景気対策、雇用対策以降は顕著になってることはご案内のとおりです。4年たっても、あるいは5年目を迎えても年度末に毎年このように極めて規模の大きい補正予算を組まなければならないという状態は、一見すると、国からの補助金などが来て多くの事業ができると見えますが、反面、4年も5年も大型の財政出動をしても景気はよくなりませんし、雇用も改善されていないということをお話することになるのではないかと私は感じています。数年にわたって大型の財政出動が展開をされ、その中で多くの事業が展開されてきたのに、相変わらず市民個々の生活には反映されていないというのが、この間の実態なのではないかとも感じます。

長井市でいえば、国のお金でこれまではできなかった事業を展開できたとか、ほかの自治体に比べて本当に貧弱だった財政調整基金を増額することができるようになったといったメリットはあったと感じますが、相変わらず景気が好転しない、働く場がない、生活が少しでもよくなっているという実感がないという声が多い、こういう事態は、これまでの財政出動による効果は極めて限定的なものでしかなかったことをあらわしているのではないかと感じられるわけですね。年度末の大型財政出動のあり方、どこにその効果を求めるのかなど、きちんと検証する必要があるのではないかと感じざるを得ませんし、これまでの繰り返しの陥ってはならないとも感じています。

同時に、こういった年度末の大型補正は、結